

平成28年6月5日

風は東から

To be continued...
to be continued...

まだまだ足りない、早実に0-4で完敗!!
選手権予選に向けてリスタート!!

インターハイ都大会は、強豪：早稲田実業 に完敗 !!

敗戦から学び、選手権予選までの70日間をどのように過ごすか？

5月15日(日)、**インターハイ東京都大会**初戦が行われました。先月行われた関東大会予選でベスト16に入り、その恩恵を受けてシード校として今大会に臨みました。この一か月間この日に向けて準備を進め、初戦の強豪校**早稲田実業**に勝って次戦の**実践学園**にリベンジするという、モチベーションを設定して、**TR&TRM**に取り組んできました。格上のTリーグに所属する東京実業駒大高(T3)、日大三、日野台を始め、関東大会に出場中の日本航空、静岡県ベスト8の富士市立との**TRM**は今大会に向けて、更に今後の東高の行方を占う上で大きな経験と自信になりました。また、厳しい**TR**の中、けが人も多少出ましたが、大会当日には現時点のベストメンバーが揃い、満を持して早稲田実業戦を迎えました。



< 都大会は難敵ばかり。オフ・ザ・ピッチでの闘いもあり、学ぶべきことが多い >

立ち上がりから、早実の前線がボールに対しプレッシャーをかけてくることは予想していましたが、選手一人一人が大きな声で勢いよくそして連動してアプローチする組織的な守備に、若干慌ててしまったのか、いつもよりボールロストする場面が目立ちました。早実の攻撃は、奪ったボールをシンプルに前線へボールを送りそれを狙うというものですが、動き出しの良いトップの⑩の選手を守備陣が捕まえきれずに苦労します。それでも、必死に対応し決定的な場面を作らせません。東高も何度か決定的なチャンスを作り出すものの、シュートが枠を捉えきれずに、結局、前半は0-0で折り返します。ハーフタイムの子どもたちの様子を見ると、久しぶりの暑さと人工芝からの余熱で、予想以上に体力を消耗しているように感じました。また、サイズは東高の方がありましたが、早実の子どもたちは身体の厚みがあり、球際のコンタクトの攻防も影響していたように思います。前回の実践学園戦同様に後半の40分間に勝負を賭けました。

<勝負の行方は後半に…>

しかし、均衡が破れたのは後半5分でした。中盤でボールを奪われると一気に前線へボールが出され、早実⑩に渡ります。東高もしっかり対応しましたが、ペナルティーアーク外から技ありのシュートがゴール左隅に決まり先制点を奪われます。その後も、同じようにカウンター攻撃が続き、追加点を与えそうな場面がありましたが、GK久保の果敢なセービングでゴールを守ります。追いつきたい東高もボールを動かし活路を見出そうとしますが、相手守備陣を崩し切れません。そして後半15分に左サイドからドリブルで中に持ち込まれ、ペナルティーエリアの外から再び同じコースにシュートが吸い込まれ追加点を奪われます。焦りがなかったといえは嘘になりますが、得点が欲しかった東高は前掛かりになり、早実ゴールを目指しましたが、逆にカウンターから失点し、結局0-4でインターハイ都大会のチャレンジは終わりました。

<負けを受け入れ、次の選手権予選を目指す!!>

インターハイ都大会 VS 早実 0-4敗退…。

残念ながらこれが結果であり、東高サッカー部の現状です。完敗、まだまだ力不足でした。

負けにはいろいろな原因がありますが、この現実を認め、しっかり受け止めること。そして、この負けから学び、諦めないで継続して日々のTRで精進し、**東高のサッカー=パスサッカー**を更に進化させ、次の選手権予選に繋げていきたいと思えます。また、三年生にとっては高校生活最後の公式戦になるわけですから、当たり前のことですが今まで以上に努力しないとイケませんね。

対戦相手の早実の選手のポテンシャルは、正直高いと感じました。もちろん、Jの下部組織や有名処のチームから選手が集まっているのも事実です。しかし、彼らの会場運営や選手のTRの取り組み姿勢を見ている限り、常に真摯に全力で行い、隙は全くありませんでした。

東高も随分変わりましたが、まだまだ指導者のいる、いないでTRに隙を作っているようでは甘いですね。この負けから学べるといいのですが、正直もう少し時間が掛かりそうです。

しかし、高校三年間でサッカーを真剣にやると決意し、覚悟を決めてここまで挑戦を続けてきましたが、いよいよ最後の公式戦（もちろんリーグ戦も頑張らせますが…）である選手権予選まであと**70日**となりました。進路との両立を図りながら一日一日をどのように過ごしていくのか？厳しく苦しい状況の中、強い意志に基づいて行動することが、子どもたちを大人に成長させます。そして、そのベースは日々の生活の中に存在します。最後まで全力で努力し、隙を作らない生活の中で培われていくのです。決して諦めることなく東高サッカーに拘って勝負していきたいと思えます。



<負けから学ぶことは大きい!! 諦めない強い意志と覚悟で選手権予選に臨む!!>